

平成23年4月から「自治基本条例」と「第6次高浜市総合計画」を両輪とする新たなまちづくりがスタート 「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」の実現を目指して

1. 「高浜市の未来を創る市民会議」設置の背景

高浜市自治基本条例

第21条（総合計画の策定等）
第3項

成果を重視した市政運営を目指すため、総合計画の進行管理を行い、その状況をわかりやすく公表します

第6次高浜市総合計画

基本計画 目標（1）市民とともに歩む経営を行います

★ 総合計画の進行管理に行政評価システムを導入し、市民とともに、総合計画の実行、評価を行います。



まちづくりのキーワード

参画

+

協働

+

情報共有

なるほど…、行政の仕組みや高浜市の状況は、今、こうなっているんだね。

お互いに情報や課題を出し合うと、何をどうすればいいかが見えてくるね。

物事を決める段階から関わることで、その後の展開にも関心が出てくるよ。



まちづくりは、まちの情報を知ることから始まるよ。わかりやすく伝える工夫も大切だね。

たくさんの人が参画することで、いいアイデアがどんどん出てくるね！



高浜市の未来を創る市民会議

高浜市の姿を知り、市民と行政が役割分担をしながら、みんなで力を合わせて総合計画の「実行」と「点検・確認」を行っていく場

2. 市民と行政が協働して、総合計画の「実行」と「点検・確認」を進めていくと…



効果

- ① 市民目線のアイデアを出していただくことによって、行政職員が見落としがちな視点を取り入れ、市民のみなさんにとってより望ましい事業を展開していくことができる。
- ② 行政活動に一定の緊張感を保つことができる。
- ③ 市民と行政はお互いに「まちづくりのパートナー」という意識が高まっていく。
- ④ 地域のまちづくりに積極的に関わろうという意識を持った市民が増えていく。



▲推進会議から市長へ提言書を提出



▲推進会議にて提言に対する行政の考え方を発表

第6次高浜市総合計画推進会議（2か月に1回開催）

〔所掌事務〕（「第6次高浜市総合計画推進会議設置規則」より）

- 1) 総合計画の進行管理に関する事項
- 2) その他総合計画の推進に関する事項

具体的には「市民会議と行政をつなぐパイプ役」

- ・ 市民会議の進め方について協議する。
- ・ 市民会議の各分科会の取り組み等について情報共有する。
- ・ 市民会議の各分科会から上がってくる「点検・確認結果」や「事業の見直し・改善案」、「アクションプランの実行成果」などをとりまとめ、市長へ提言する。
- ・ 市民会議の各分科会同士の連携のあり方について検討する。
- ・ 推進会議と市民会議のあり方自体を検討する。

〔構成〕12名

〔中川幾郎会長（帝塚山大学大学院教授）、市民会議各分科会の市民リーダー等、副市長〕

「点検・確認結果」や「実行成果」等を持ち寄る

高浜市の未来を創る市民会議（月1回開催）

〔役割〕市民と行政の協働により、総合計画の目標達成に向けた「点検・確認」と「実行」を行う。

【点検・確認】<上期>

- ・ 総合計画の基本計画に掲げた14目標の達成度や、アクションプランの実効性を点検・確認する。
- ・ 目標の達成に向けて、事業の見直し・改善に対する意見・アイデアを出す。

【アクションプランの実行（協働）】<下期>

総合計画の基本計画に掲げた目標の達成に向けて、アクションプランの中から市民に関係の深いテーマを取り上げ、市民と職員と協働でアクションプランの実行に取り組む。

市民の役割

- ★ 総合計画の基本計画に掲げた目標や、「みんなで目指すまちづくり指標」の目標値は達成できそうか、アクションプランは目標達成の手段として有効に効いているかなどを、点検・確認する。
- ★ 現状・課題等を踏まえ、目標の達成に向けて、事業の見直し・改善に対する市民目線の意見・アイデアを出す。

参画・協働・情報共有

行政

市長

【部長会】

- ・ 総合計画基本計画（前期）の進行管理に向けた総合調整を行う。
- ・ 推進会議が行う調査・審議に対し、求めに応じた報告や資料等の作成を行う。

提案・報告

職員メンバーへ指示

行政の役割

- ★ 分科会運営の取り回しを行う。（積極的な発言、市民意見を引き出す工夫）
- ★ 総合計画に掲げた目標の達成に向けて、取り組んできた事業概要を報告する。
- ★ 施策（14目標）の内部評価の結果を市民会議に提示する。
- ★ 市民のみなさんから出された事業の見直し・改善案が実現可能かどうか検討する。

提言書の提出・実行成果等の報告

検討結果を報告
求めに応じて関係職員が出席

参画・協働・情報共有

★ 行政の各担当Gが記述する ★

1. 目標	(3)市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行います		
とりまとめG	地域協働部 地域政策G	担当G	地域協働部 地域政策G 行政管理部 人事G

2. 目標が達成された姿
◇ 市民と行政の意見交換が活発に行われ、お互いの信頼関係が深まり、ともにまちづくりを行っています。
◇ 地域の課題を地域の自主的・主体的な活動により解決する取り組みが活発に行われています。
◇ 市民同士がきちんと話し合いをして、お互いに納得できる合意を創り出すなど自治力が向上しています。
◇ 多くの市民がまちづくりに関わり、地域のニーズに即して税が有効に活用されています。

3. 【CHECK】 みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—

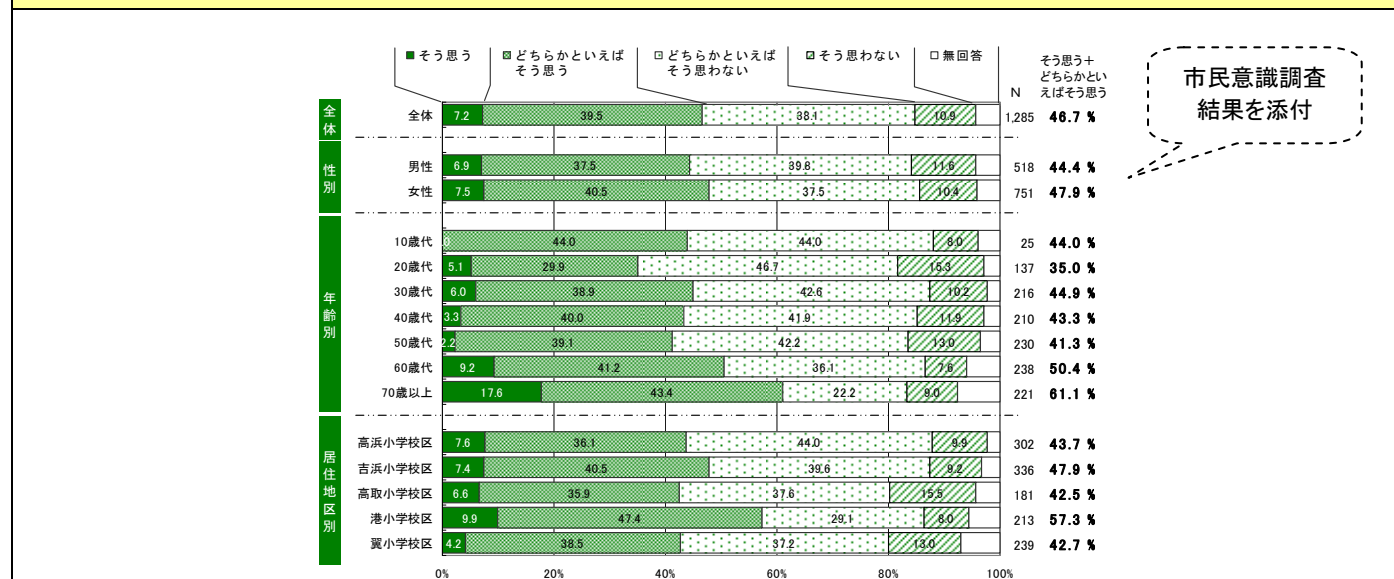
目標の達成度を計る指標	策定値 (2010)	現状値 (2011)	目標値 (2013)	進捗度を3段階で評価
1) 「高浜市自治基本条例」を知っている人の割合	—	●●●%	30%	● = 順調
2) 地域活動に参加したことがある人の割合	45.4%	●●●%	55%	● = 真ばい
3) 地域活動に参加している職員の割合	45.0%	●●●%	60%	● = 低下

市民意識調査等で把握

進捗度を3段階で評価

4. 【CHECK】 市民意識調査結果

<設問> 市民と行政が信頼関係を深め、ともにまちづくりを行っていると思いますか？



5. 【CHECK】 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)

- ・ 「3. みんなで目指すまちづくり指標 —目標達成状況—」と「4. 市民意識調査結果」を踏まえ、指標（目標）が達成できた要因・達成できなかった要因といった分析内容を記述する。

(前期) 施策評価シート

参考
第4回推進会議
(H23.12.12)
資料をもとに作成

「現行どおり」、「要改善(進捗状況)」、「要改善(効率性)」、「ゼロベースで見直し」の4段階で評価

★ 行政評価委員会の結果を転載する ★

6. 施策を構成するアクションプランの評価結果(行政評価委員会による評価結果)				
アクションプラン (事務事業名)	評価結果	活動指標名	現状値 (2011)	目標値 (2011)
		成果指標名		
【No.9】 自治基本条例推進事業	要改善 (効率性)	自治基本条例に関する記事の広報への掲載回数	●回	8回
		高浜市自治基本条例を知っている人の割合	●●%	15%
【No.10】(仮称)まちづくり協議会条例検討事業	要改善 (進捗状況)	(仮称)まちづくり協議会代表者会の設置	1件	1件
		(仮称)まちづくり協議会条例の制定	—	—
【No.11】 市民予算枠事業	現行 どおり	申請・提案件数	20件	19件
		実施事業数	103件	106件
【No.12】まちづくり総合交付金制度研究事業	要改善 (進捗状況)	制度研究レポートの作成	1	1
		交付金制度研究(構築)の進捗率	●●%	50%
【No.13】 市民自治力推進事業	要改善 (効率性)	シンポジウム開催回数	1回	1回
		シンポジウム参加者数	●●●人	350人
【No.14】職員カステップアップ推進事業	ゼロベース で見直し	研修会開催・派遣回数	●●回	41件
		研修会参加者数	●●●人	463人

7. 【CHECK】 これまでの主な取り組みと成果

・ アクションプランごとに、平成23年度に取り組んできた概要と、その成果を箇条書きで記述する。

・ 項目「7」、「8」、「9」については、行政がタタキ台を「高浜市の未来を創る市民会議」の各分科会へお示し、「市民目線」のご意見・ご提案をいただきながら、協働で「点検・確認」(評価)を実施する。
・ 「総合計画推進会議」では、市民会議から上がってきた「施策評価シート」をもとに、全体の目直しを行う。

8. 【CHECK】 課題と今後の取り組みの方向性

<課題を洗い出す際の視点>

- ・ 「5. 「みんなで目指すまちづくり指標」「市民意識調査」結果に対する現状分析(要因・課題等)」でチェックした結果を踏まえながら、アクションプランの構成は妥当かを検証し、課題を抽出する。
- ・ 「みんなで目指すまちづくり指標」の目標値(2013)を達成できるか、達成できそうかを検証し、課題を抽出する。

⇒ 課題を踏まえ、目標を達成するための取り組みにどうつなげていくか、考え方・方向性を記述する。

9. 【ACTION】 目標達成に向けての具体的な方策(見直し・改善案)

・ 課題・今後の方向性を踏まえ、目標達成に向けての具体的な対応策・取組内容(見直し・改善のアイデア)を記述する。

⇒ いただいたアイデアを踏まえ、アクションプランの新規立案・廃止・見直しにつなげていく。

★ 「高浜市の未来を創る市民会議」において、市民と行政が協働で点検・確認する★